

令和 5 年度

「運営に関する計画」
中間評価

大阪市立東粉浜小学校

令和 5 年 1 0 月

大阪市立東粉浜小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準 A : 目標を上回って達成した B : 目標どおりに達成した
C : 取り組んだが目標を達成できなかった D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
<p>【最重要目標 1 安全・安心な教育の推進】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>○小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。</p> <p>○年度末の校内調査において、不登校児童の在籍比率を前年度より減少させる。</p> <p>○年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○令和 5 年度の全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標を持っていますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を前年度より増加させる。</p> <p>○生活振り返りカード(東粉浜マイスターカード)の各項目について毎月保護者と児童が話し合い、学校や家庭生活を振り返り、自己の課題を明確にして改善に取り組む。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
<p>取組内容①【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>いじめ・不登校への対応</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめや不登校など配慮が必要な児童の問題解決について、各学級担任・生活指導部長・養護教諭・管理職が連携して、組織的かつ外部機関とも連携しながら丁寧に対応していく。 ・いじめについて考える日や道徳授業において、いじめについて深く考える授業を行う。 () 	A
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・配慮や支援の必要な児童について、スクリーニングシートの活用や共通理解の場を月一回設ける。 ・いじめについて考える日や道徳授業において、学期に 1 回以上いじめに関する指導を行い定期的にいじめについて考える機会を設ける。 	
<p>取組内容②【1 安全・安心な教育環境の実現】</p> <p>防災・減災教育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・火災や地震・津波の避難訓練、引き取り訓練、不審者対応訓練、救急救命講習会などを計画し、区役所、警察、消防署などとも連携しながら、取組を進める。 ・子どもの意識を高めるため、防災学習に取り組む。 () 	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難訓練、引き取り訓練、防災学習等、命を守る学習を計画的に実施する。 	

<p>取組内容③【2 豊かな心の育成】</p> <p>自尊感情の育成</p> <p>・日々の授業や学級活動、他学年との交流活動を通して、自分のよさに気づいたり、仲間に認められたりする場を設ける。</p> <p style="text-align: right;">()</p>	A
<p>指標</p> <p>・生活振り返りカードにおいて、「まわりにいる人から、『ありがとう』や『すごいね』と言われたことがありますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を85%以上を維持する。</p>	
<p>取組内容④【2 豊かな心の育成】</p> <p>道徳教育の推進</p> <p>・道徳教育の充実を図り、子ども同士が意見を交流することができる授業を展開するために、道徳教育推進教師による研修会などを活用して、学校全体での授業の方法や評価のあり方に対する理解を深める。()</p>	B
<p>指標</p> <p>・道徳科における研修会などを活かし、年間1回（12月10日付近に）「道徳の日」を設定し、その日の様子をホームページに公開し、保護者や地域に発信する。</p>	
年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析	
<p>① スクリーニングシートを活用しながら、気になる児童やいじめ・不登校の児童について、毎月1回は共通理解の場を設けて、情報共有をすることはできている。</p> <p>② 年間計画に基づいた様々な訓練等、命を守る学習は計画的に行えている。また、救急救命講習会や不審者対応研修など教職員への研修も実施することができた。</p> <p>9月に行った防災学習週間では参観にすることで保護者とともに防災について考える機会を作ることができた。</p> <p>③ 日々の学級活動などでお互いを認め合える場を設けるとともに、運動会以降たてわり班での活動を継続して他学年と交流の場を多く設けたことで、「まわりにいる人から、『ありがとう』や『すごいね』と言われたことがありますか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合は92.8%となった。</p> <p>④ いじめについて考える日や研修会を設定して、道徳の理解が深まった。また、1日学校公開日と同じ日に「道徳の日」を設定し、各学年道徳の授業公開を行った。その時の様子はホームページでも発信した。</p>	
後期への改善点	
<p>① 引き続き情報共有を行う。対応については組織的に複数人数であたるようにする。また、子ども同士がつながる声かけをしていく。</p> <p>② 後期は避難訓練で不審者対応や津波の訓練を行う予定である。防火バケツの定期的な点検や系統立てた防災学習としての改善を模索する。</p> <p>③ 年間を通じて児童集会やたてわり班活動の場を今後も設ける。</p> <p>④ 道徳の評価のあり方についてさらに共通理解を深める。</p>	

大阪市立東粉浜小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成状況
<p>【最重要目標 2 未来を切り拓く学力・体力の向上】</p> <p>全市共通目標(小学校)</p> <p>○小学校学力経年調査における「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 45%以上にする。(R4 年度 43.5%)</p> <p>○小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。</p> <p>○小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 70%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「外国語(英語)の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。</p> <p>○小学校学力経年調査における「運動(体を動かす遊びを含む)やスポーツをすることは好きですか」に対して、最も肯定的な「好き」を回答する児童の割合を 70%以上にする。(R4 年度 68.7%)</p> <p>学校の年度目標</p> <p>○令和 5 年度末の校内調査において、「早寝・早起きができている。」に対して肯定的な回答をする児童の割合を 80%以上にし、「毎日朝食を食べている」に対して肯定的な回答をする児童の割合を 90%以上を維持する。</p>	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗状況
<p>取組内容① 【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>「主体的・対話的で深い学び」の推進</p> <p>・校内研究をすすめ、全学年で思考ツールを活用した主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業研究に取り組む。()</p> <p>指標</p> <p>・生活振り返りカードにおいて、「授業で自分の意見を言ったり、友達と話し合ったりすることが楽しい」を肯定的に答える児童を 70%以上にする。</p> <p>・2 年目教員の授業実践や、メンターを中心とする研修を年間 5 回以上行い、若手教員の指導力を高めていく。</p>	A
<p>取組内容② 【4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>英語教育の強化</p> <p>・全学年週 2 回のフォニックス活動、3・4 年生の外国語活動、5・6 年生の外国語科を中心とした決められた時間を、ヒアリングとアウトプットを意識して実施する。()</p>	B

<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活振り返りカードにおいて、「英語の学習は楽しいですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を80%以上にする。 	
<p>取組内容③【5 健やかな体の育成】</p> <p>体力・運動能力向上のための取組の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 体力向上推進者による伝達研修等により、体育科の学習時間内の運動量の向上、ならびに普段の生活の中での運動（外遊び）する習慣が身につくようにする。 体育的行事やチャレンジ大会、頑張りカードの活用、校内での表彰等、児童の体力向上への意欲をさらに高めていく。 <p style="text-align: right;">()</p>	C
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 毎月の生活振り返りカードの運動（外遊び）をしたと肯定的な回答をする児童を85%以上にする。 	
<p>取組内容④【5 健やかな体の育成】</p> <p>健康教育・食育の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> 児童の規則正しい生活習慣が身に付くよう、「早寝早起き朝ごはん」をキーワードに、指導と啓発を行う。 <p style="text-align: right;">()</p>	B
<p>指標</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活振り返りカードにおいて、「早寝・早起きができている。」に対して肯定的な回答をする児童の割合を80%以上にし、「毎日朝食を食べている」に対して肯定的な回答をする児童の割合を90%以上を維持する。 	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	
<p>① 全学年で思考ツールを活用した主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業研究に取り組む計画的に実践を行っている。また夏休み期間を利用し校内研修を行ったり、メンターを中心とする研修を行ったりして、全教員の授業力向上に努めている。その結果、生活振り返りカードにおいて、「授業で自分の意見を言ったり、友達と話し合ったりすることが楽しい」を肯定的に答える児童が89.9%になっている。</p> <p>② 「英語の学習は楽しいですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合は86.7%になっている。朝の英語タイムではC-NETによる絵本の読み聞かせを全学年に対して行っている。DREAMだけでなく、C-NETと英語のやり取りをしながら楽しんでいる様子が見られた。さらに1年生ではお楽しみ会、2年生では国語科に結び付けて、低学年もC-NETに関わる機会を作ることができた。しかし、高学年になるにつれ、教科としての学習内容が難しくなり、英語に対して苦手意識をもつ児童が増えるため、数値が低い傾向がある。教員に対しては夏休みに外国語の研修を行い、単元の実践例の紹介や児童がアウトプットしやすいアクティビティなどを共有し、指導力の向上をはかった。</p> <p>③ 猛暑日が続くなどの気候の影響もあり熱中症予防対策として、外に出て遊ぶことができないことが多かった。その結果、毎月の生活振り返りカードの運動（外遊び）をしたと肯定的な回答をした児童の割合は76.4%であり目標には至っていない。夏休みには、体力向上伝達研修を行い、室内でもできる取り組みを伝達することができた。</p> <p>④ 生活振り返りカードにおいて、「早寝・早起きができている」に対して肯定的な回答をする児童の割合が75.2%になっている。特に低学年の肯定的な回答が74%台と低く、家庭環境で左右されるのが実情である。また、「毎日朝食を食べている」に対して肯定</p>	

的な回答をする児童の割合は 96.0% となり、食生活に対しての意識は高くなっている。
後期への改善点
<p>① 引き続き授業研究に取り組むとともに、さらなる教員の指導力向上に取り組む。</p> <p>② 引き続き計画通り継続して取り組む。C-NET と連携をより密にしながら児童が興味を持つような楽しい活動の充実をはかる。</p> <p>③ なわとび週間やかけ足週間を実施し、がんばりカードを活用し、外遊びをするきっかけを作る。また、体育科の授業の中でも、児童が主体となり運動量を確保できるよう、引き続き手立てを行っていく。</p> <p>④ 現在、早寝早起きの目安となる時刻は周知しているが一律の時間にそろえることは難しい。各家庭で実践できる早寝・早起きの時刻を個別に設定するなど、家庭と連携をして状況を知り、子どもに応じた啓発活動を行っていく。</p>

大阪市立東粉浜小学校 令和 5 年度 運営に関する計画・自己評価 (目標別シート)

評価基準	A : 目標を上回って達成した	B : 目標どおりに達成した
	C : 取り組んだが目標を達成できなかった	D : ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

年度目標	達成 状況
【最重要目標 3 学びを支える教育環境の充実】 全市共通目標 (小学校) ○デジタル教材や学習者用端末等 ICT 機器を活用した授業を毎日 1 回以上行う。 ○ゆとりの日や午後 6 時までに退勤する日を週 1 回以上設定する。 学校の年度目標 ○年度末の校内調査において、「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上を維持する。	

年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進捗 状況
取組内容①【6 教育 DX の推進】 ICT を活用した教育の推進 ○主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業を進めるとともに、大型モニターや PC、一人一台学習者用端末の活用を努め、ICT を有効活用した授業を学年の発達段階に応じて推進する。()	A
指標 ・生活振り返りカードにおいて、「デジタル教科書やパソコンなどを使って学習するのは楽しい」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。	
取組内容②【7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 働き方改革の推進 ・時間外勤務時間を減らし、教職員の健康管理をすすめる。 ・教科担任制や、SSS の活用、学校行事の精選や会議時間の短縮に努める。()	B
指標 ・ゆとりの日や午後 6 時までに退勤する日を週 1 回以上設定する。	
取組内容③【8 生涯学習の支援】 「大阪市子ども読書活動推進計画」に基づいた取組 ・子どもたちが読書を好きになる仕掛けをできることから積極的に取り組んでいく。(読書タイム、おすすめ本の紹介、読み聞かせ、本の帯づくり等)()	B
指標 ・年度末の校内調査 (図書委員会の活動) において、「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上を維持する。	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析
<p>① リーディング DX スクール事業の全市公開等、学校全体で ICT 機器を活用することが進められている。これにより、児童も普段から ICT 機器を意欲的に使用することができおり、「デジタル教科書やパソコンなどを使って学習するのは楽しい」の項目について、肯定的に回答する児童の割合は 92.8%となっている。</p> <p>② ゆとりの日を設定し 18 時退勤を週 1 回設けているが、家や休日での仕事をしている教員もいる。SSS の方の働きは非常に有難く、勤務時間の短縮につながっている。</p> <p>③ 図書館開放を毎日実施し、全学年で週に 1 度読書タイムを設定している。また、学習に必要な本や、児童が興味のある新しい本を増やしている。1 学期末の校内調査（図書委員会の活動）において、「読書は好きですか」の項目について、肯定的に回答する児童の割合が 86%だった。</p>
後期への改善点
<p>① リーディング DX スクール事業に取り組んできているが、今後 ICT の有効的な活用方法を精査する必要がある。また、活用するために、操作方法や実践についての研修等の情報共有を行う。今後も計画性をもって引き続き研修に努めていく。また、ICT を取り入れることで生じるトラブル・保護者対応などについての改善について考える必要がある。</p> <p>② ある程度全教員で見通しを持ち、会議や研修の持ち方について調整する。</p> <p>③ 時間を見つけて読書をする児童とそうでない児童に分かれてきているので、あまり読書が好きではない児童が関心をもてるような改善策（ビブリオバトル、ブックトークなど）を検討する必要がある。</p>